



民主党議員団
酒井 たくや

平成28年度予算

区民税の取納率の向上のため、29年度から特別徴収推進を図るとのことだが、影響額は、

7800万円を見込んでいます。

特別区民税に、3億円の減収の影響を及ぼす、ふるさと納税は看過できない。今後の影響と区の対策は。

区の基幹財源である特別区民税の取納に大きな影響を及ぼすと予想されるため、今後の実施に向け有効な仕組みを検討したい。

特別区交付金のうち、特別交付金の当初予算と決算との乖離が大きい。当初予算を増額するべきではないか。



自由民主党議員団
市川 みる

中野二丁目地区まちづくり

千光前通り沿道地区では、どのような地区計画がふさわしいと考えているか。

街並み誘導型地区計画の活用が考えられる。

中野二丁目を取り囲んでいる道路のうち、千光前通りだけ片道通行で幅の狭いままであるが、拡幅できないのか。

地域の特性や周辺のまちづくり動向を踏まえた検討が必要と考えている。

千光前通り沿道やファミリーロード沿道のまちづくりでは、要望書が提出されるなど機運が盛りあがっているが、どのようなまちづくりを進め

より一層推進し、将来に向けて着実に歩みを進めていく。今後10年間で職員一千人が入れ替わる。戦略を持って職員採用・人材育成・研修に取り組みべきではないか。

現在の考えを継続する。特別交付金の交付額が23区で下位である。獲得の工夫をすべきではないか。

特別交付金の確保については、より一層努力する。

特定財源の確保と新規事業を展開する際の既存事業見直し等が、区の予算編成方針に沿ってないところも散見される。改めて庁内共有を図るべきではないか。

庁内で共有し、PDCAサイクルに基づき検証すること、持続可能な財政運営を

めるとあるが、それはいつか。まちづくり協議会といった組織が立ち上がった段階から支援を行いたい。

再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

地域の機運醸成などを適切に捉え進めていきたい。

再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

より一層推進し、将来に向けて着実に歩みを進めていく。今後10年間で職員一千人が入れ替わる。戦略を持って職員採用・人材育成・研修に取り組みべきではないか。

現在の考えを継続する。特別交付金の交付額が23区で下位である。獲得の工夫をすべきではないか。

特別交付金の確保については、より一層努力する。

特定財源の確保と新規事業を展開する際の既存事業見直し等が、区の予算編成方針に沿ってないところも散見される。改めて庁内共有を図るべきではないか。

庁内で共有し、PDCAサイクルに基づき検証すること、持続可能な財政運営を

めるとあるが、それはいつか。まちづくり協議会といった組織が立ち上がった段階から支援を行いたい。

再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

地域の機運醸成などを適切に捉え進めていきたい。

再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。

再開発事業は住民を追い出すのではなく、生活再建となるよう地権者の気持ちをしつかり酌んで着実に進めるべきと考えるがどうか。



公明党議員団
木村 広一

まち・ひと・しごと創生総合戦略

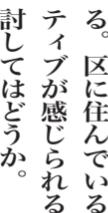
人口の将来推計から歳入歳出を見込むことで、将来的な財源の確保や基金の積み上げ方など検討しては。

将来を見据えた基金の積み立てと繰り入れについて、

合計特殊出生率を2030年に1・38、2040年に1・65を目指すとしているが、希望的な観測ではなく、必ず達成する目標と考えてよいのか。

真正面から出生率の向上に取り組んでいきたい。

区民が寄付しやすい「ふるさと納税」制度が必要である。区に住んでいるインセンティブが感じられる制度を検討してはどうか。



日本共産党議員団
小杉 一男

国民健康保険

自営業を営む夫45歳、妻40歳、子ども10歳の家族で所得が360万円の場合、国民健康保険料は幾らになるのか。

平成27年度の基準では、年間約49万円となる。

区の試算によると、国民健康保険料のほかに、国民年金保険料37万4000円、所得税16万円、住民税26万6000円が加わると合計は129万円に上り、所得の36%を占める。こうした保険料が支

払えない場合に被保険者証の代わりに交付される、短期被保険者証と資格証明書の交付世帯数とその割合は。

平成27年9月時点で短期被保険者証が9186件で、全体に占める割合は13・7%、資格証明書が645件で、96%である。

短期被保険者証は、被保険者の1割以上が交付されているという現状である。資格証明書については、平成21年の政府答弁によれば、医療を受ける必要が生じ、かつ医療

区独自の目的に沿った寄付など今後考えていきたい。

和光市のケアシステムは、機能回復できる方へ改善を徹底し、介護を受ける本人、家族、自治体が喜ぶ大変有意義なモデルケースである。区も和光スタイルを目指しては。

区の特徴を捉えた目標を設定し、区民、地域、関係機関とケアシステムを構築する。

個別ケースの多職種での検討、スタッフの実践力のため地域ケア会議の圏域等を考慮すると、ケア会議のあり方を検討すべきではないか。

ケース検討の場合は、介護職のスキルアップ、地域課題の把握の観点から重要であり、区も関与を強めて充実を図る。

神戸市では、利用者負担18万円で終身にわたり市内の民間賃貸住宅の連帯保証人となる事業を実施している。この事例を参考にし、都と連帯保証の支援制度を検討しては。

他の自治体を参考にし、新たな制度を検討したい。

見守りステッカー配付事業は、徘徊する高齢者等が利用することで、登録番号から人物が特定できる。安価で数人や貼付場所の工夫の余地もあり、検討しては。

介護者の利便性や安全性などを踏まえ、検討する。

認定保育所から認可保育所等の3歳児クラスに移行できる人数は、確保できるのか。

計画的に整備を進めるとともに、多様な策を講じて、確実に転園できるよう努める。

機関への一時払いが困難であると申し出れば、緊急的な対応として短期被保険者証に切り替えることを区の判断できるとされているが、区の平成26年度の交付件数は。

緊急的対応として短期被保険者証を交付した例はない。

こうした緊急的な対応として、区は必要に応じて短期被保険者証の発行を行うのか。

特別な事情があり、緊急性が高い場合には、国の通知等に従い適切に対応していく。

子ども・若者の貧困対策

子どもの貧困が大きな問題となっている。また、子どもから連なる若者世代を含めた問題は、従来の個別分野の縦割りの対応では限界を迎えている。実情に応じた中野区子ども・若者計画を策定し、多くの団体との育成ネットワーク構築に向け動き出しては。

子ども・子育て支援事業計画の内容を踏まえ、計画策定について検討していきたい。

障がい者理解教育

差別解消法の施行を契機に、聞く学習や体験学習などに、障がい者理解をもう一歩進める福祉教育を、総合的な学習の時間でより多く実施するよう各学校に啓発してはどうか。

具体的な実施方法は、必要に応じて情報提供していく。

利用者目線のICT活用

区主催のイベントスケジュールを、ウェブカレンダーで利用できるようオープンデータ化してはどうか。

ウェブカレンダーについてはさまざまな形式があり、利便性の高まる提供方法について研究していきたい。

28年度に「ごみ分別アプリ

地域スポーツクラブとスポーツ・コミュニティプラザの運営について

中野区自転車利用総合計画(改正版)について

子ども・若者の貧困対策

障がい者理解教育

利用者目線のICT活用



民主党議員団
山本 たかし

子ども・若者の貧困対策

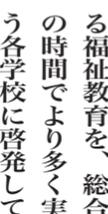
子どもの貧困が大きな問題となっている。また、子どもから連なる若者世代を含めた問題は、従来の個別分野の縦割りの対応では限界を迎えている。実情に応じた中野区子ども・若者計画を策定し、多くの団体との育成ネットワーク構築に向け動き出しては。

子ども・子育て支援事業計画の内容を踏まえ、計画策定について検討していきたい。

障がい者理解教育

差別解消法の施行を契機に、聞く学習や体験学習などに、障がい者理解をもう一歩進める福祉教育を、総合的な学習の時間でより多く実施するよう各学校に啓発してはどうか。

具体的な実施方法は、必要に応じて情報提供していく。



民主党議員団
山本 たかし

子ども・若者の貧困対策

子どもの貧困が大きな問題となっている。また、子どもから連なる若者世代を含めた問題は、従来の個別分野の縦割りの対応では限界を迎えている。実情に応じた中野区子ども・若者計画を策定し、多くの団体との育成ネットワーク構築に向け動き出しては。

子ども・子育て支援事業計画の内容を踏まえ、計画策定について検討していきたい。

障がい者理解教育

差別解消法の施行を契機に、聞く学習や体験学習などに、障がい者理解をもう一歩進める福祉教育を、総合的な学習の時間でより多く実施するよう各学校に啓発してはどうか。

具体的な実施方法は、必要に応じて情報提供していく。

利用者目線のICT活用

地域スポーツクラブとスポーツ・コミュニティプラザの運営について

区議会を傍聴してみませんか

本会議や委員会の傍聴は、どなたでもできます。傍聴希望の方は、会議の当日、区議会事務局(区役所議会議棟3階)で傍聴の申し込みをしてください。受け付けは会議開始の1時間前から、入場は30分前からになります。本会議は定員100人、委員会は定員15人です。

なお、携帯電話など電子機器をお持ちの方は、必ず電源をお切りください。

【問合せ】区議会事務局
電話 3228-8870

